

海外事情研究所 2017年度第1回所員研究会

■ 報告者：逆井 聡人

「おかみさんたちの闘い — 金達寿の初期小説と濁酒」

本報告では金達寿が占領期日本における同胞の生活を描いた短編小説『番地のない部落』（1948年）や『四斗樽のばあさん』（1949年）を中心に論じる。朝鮮戦争への緊張感が高まる中、日本内部において日本警察やアメリカ占領軍から朝鮮人が「共産主義の扇動者」として警戒されていたこと、また密造酒製造を理由に弾圧が強められたことを確認した上で、「濁酒」とそれを造る「お内儀さんたち」というこの時期の金達寿の小説に頻出する表象から何を読み取れるかを考察する。

2017年7月5日（水）13時より

海外事情研究所（研究講義棟 427）

事前申し込み不要

問い合わせ：東京外国語大学海外事情研究所 (ifa@tufs.ac.jp)

